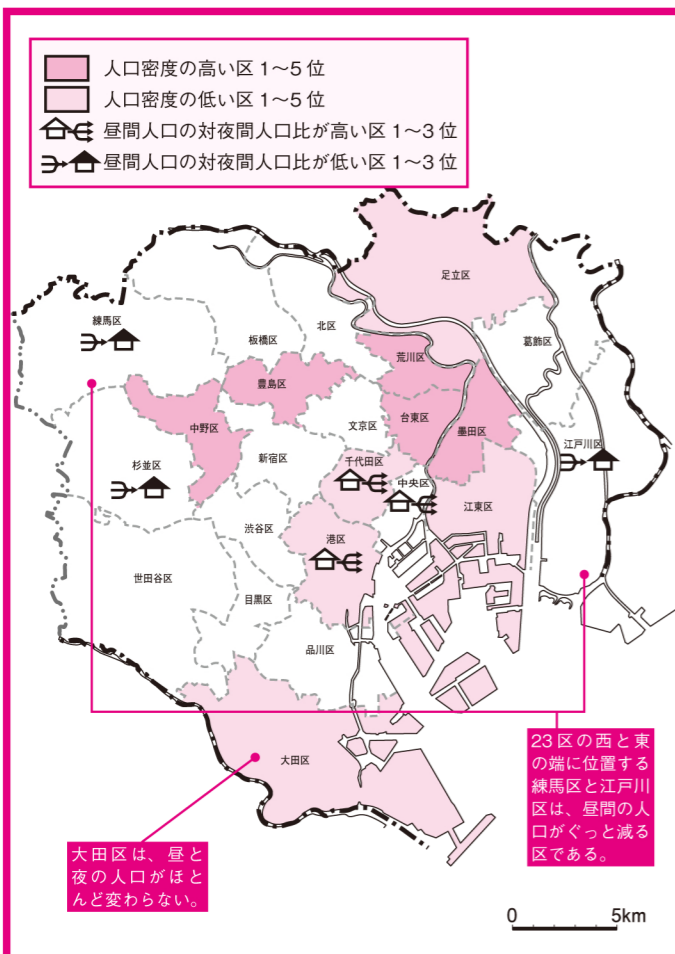


## 昼夜での人口密度の差



## 昼夜人口

人口密度が高いのは豊島区だが、それは夜だけの話——  
 昼は人口が夜の15倍にも増える  
 コンクリート・ジャングルな千代田区

### 人がすし詰めのように暮らしている豊島区

23区格差といえば、まず気になるのは人口、そして人口密度だろうか。そこで基本中の基本として、23区の人口を調べてみた。すると、その結果は下表のようになった。

まず、人口トップは**世田谷区**で88万人以上、**練馬区**と**大田区**がこれに続く。いずれも面積自体が広くて住宅地が多い区だから、たれしもの結果にはうなずけるだろう。

逆にもっとも人が少ないのは**千代田区**で、5万8000人あまり、続いて**中央区**と**台東区**となっている。こまごまはそれぞれ面積自体も小さくて商業地が多い区といえるだろう。

それでは、もっとも人がすし詰めのはどこなのか？ その答えは、池袋を中心に住宅地が広がる**豊島区**だ。1平方キロメートルあたりの人口密度は2万1571人、つまり、10メートル四方につき2人

### 昼間人口の対夜間人口比が高い区1~5位

|    |                     |
|----|---------------------|
| 1位 | <b>千代田区</b> (15.3倍) |
| 2位 | <b>中央区</b> (4.2倍)   |
| 3位 | <b>港区</b> (4.0倍)    |
| 4位 | <b>渋谷区</b> (2.4倍)   |
| 5位 | <b>新宿区</b> (2.2倍)   |

千代田区は、15倍と圧倒的な差が出た。オフィスや官公庁が多く、また夜間人口が少ないためだろう。

### 人口の多い区1~5位

|    |                        |
|----|------------------------|
| 1位 | <b>世田谷区</b> (883,289人) |
| 2位 | <b>練馬区</b> (719,109人)  |
| 3位 | <b>大田区</b> (712,057人)  |
| 4位 | <b>江戸川区</b> (686,387人) |
| 5位 | <b>足立区</b> (678,623人)  |

セレブエリアから庶民的な住宅地まで、多種多様な住民が暮らす世田谷区が、人口第1位となった。

以上だ。ランキングは続いて、同じぐらいの数値で**荒川区**、**中野区**となった。

反対に人口密度がもっとも低いのは**千代田区**で、1平方キロメートルあたり5000人あまり。したがって、豊島区や荒川区の4分の1しかない。もっとも住宅が少ない官庁街が多いのに加え、区面積の6分の1以上を皇居が占めているだけのこともある。

### 昼間の練馬区と江戸川区では住民の5人に1人が留守中

ここで少し角度を変えてみよう。昼と夜の人口比をみると、**千代田区**は夜の人口が100に対して昼は1534で、なんと15倍も人口が変化していることがわかる。これにくらべると、2位の**中央区**はガクッと落ちるが、それでも昼の人口が424と4倍以上増えている。

反対に、昼の人口がもっとも減るのは**練馬区**で、

### 昼間の千代田区では、平均して10メートル四方に7人が勤務

ただし、これらのデータはあくまで各区の住民の人口密度であることに注意してほしい。これをより正確にいえば、夜間人口ということになる。

ところどころ、昼間には都心部のオフィスや官庁に周辺の地域から大量に人が集まっている。そこで「昼間人口の密度」のほうも比較してみよう。

すると**千代田区**がブッチキリのトップで、じつに1平方キロメートルあたり6万9790人！ 10メートル四方につき約7人ということになるから、1人あたりのスペースは約14平方メートルしかない。高層ビルが林立する土地でなければ、絶対にムリな密度である。

続いて昼間人口の密度が高いのは、同じく大会社の集まるオフィス街の**中央区**で、1平方キロメートルあたり5万8613人、以下、**港区**、**新宿区**、**渋谷区**と続く。

夜の100に対して82だ。つまり区民の2割近くが出勤や通学で昼間はいなくなることになる。これに比べ、**江戸川区**なので、ちょっと23区の西と東の端という結果になった。とりわけ江戸川区は1平方キロメートルあたりの駅の数ももっとも少ないので、54ページ、地下鉄東西線などの各駅の混雑はずさまじいものになる。

続いて、**杉並区**、**葛飾区**、**足立区**といった住宅地をたくさん含む区がランクインしている。ところで、23区でもっとも人口の多い**世田谷区**も、昼間人口が100を切り98・7であった。やはり住宅街が大部分を占めているからだだろう。

また、都心部には埼玉県や千葉県、あるいは東京都西部の多摩方面から通勤する人間も多いが、23区内に限れば、おおむね「北から南」に人が移動していることもわかる。

ちなみに、昼と夜の人口がほとんど変わらないのが23区でいちばん南にある**大田区**で、夜の人口が100に対して昼間は98・6。

大田区は、内陸の住宅街と湾岸部の商業地帯および工業地帯にきっちり分かれているので、結果的にプラスマイナスゼロになっているのかもしれない。

### 要するに！

昼と夜との景色の違いを楽しむなら、千代田区を眺めよう。